

【動物死亡情報(2022 年度)】

・2023 年 3 月 10 日 オオカンガルーの「ミズキ」



・死因：肺炎、腸炎

・愛称：ミズキ

出生日：2013 年 4 月 5 日（顔出しを確認した日）

年齢：9 歳、性別：メス

展示場が好きだったのか、夕方、いつも他のメスの子たちより少し遅れて部屋に戻ってきたり、時にはさいそくしないと帰ってこなかったこともありましたが、今まで温かく見守っていただきありがとうございました。

・2023 年 1 月 25 日 オオカンガルーの「ナナ」



・死因：腎不全

・愛称：ナナ

出生日：2014 年 10 月 7 日（顔出しを確認した日）

年齢：8 歳、性別：オス

近年は、後足を痛めていてあまりジャンプができませんでした。それでも時々他のオスとけんかをしたり、元気な姿を見せていました。今まで温かく見守っていただき、ありがとうございました。

・2023 年 1 月 23 日 ホンドザル「レンゲソウ」



・死因：多臓器不全

・愛称：レンゲソウ

出生日：2000 年 9 月 24 日

年齢：22 歳、性別：メス

20 世紀最後に生まれた個体でした。体が白く、ぼてっとなおなかの特徴でした。餌の真ん中に座ってのんびり食べていた姿が思い出されます。今まで応援していただき、ありがとうございました。

・2022年12月31日 フタユビナマケモノ「お父さん」



- ・死因：腎不全
- ・愛称：お父さん

来園日：1993年8月20日

性別：オス

動物科学館のバードホールで飼育していましたフタユビナマケモノの愛称：お父さんは活動的な個体でした。舌をちょっとだけ出す姿が見られなくなり、とても残念です。今まで温かく見守っていただき、ありがとうございました。

・2022年9月26日 ミーアキャット



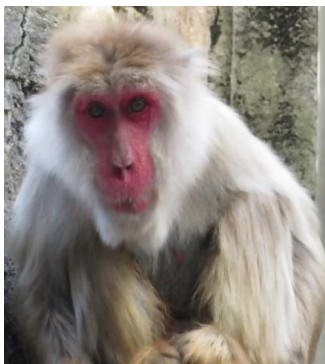
- ・死因：腹膜炎

出生日：2017年9月30日

年齢：4歳、性別：オス

数日前に食欲が無くなり、治療をしていたところでした。群れの他個体とも仲が良く穏やかなミーアキャットでした。今までありがとうございました。

・2022年7月5日 ホンドザル「ネズコ」



- ・死因：多臓器不全
- ・愛称：ネズコ

出生日：1986年5月18日

年齢：36歳、性別：メス

サル山では最長老のネズコでした。体が白く、猫背で、最近はおごきもゆったりで皆様方にも心配されていましたが、暑くなっても冷凍イチゴをおいしそうに食べていました。今まで応援していただきありがとうございました。

・2022年6月23日 アメリカビーバー「ドン」



・死因：腸炎

・愛称：ドン

誕生日：2002年5月7日

年齢：20歳、性別：オス

千葉市動物公園のビーバー界を築いてくれたドン。数年前から非公開で隠居生活を送ってきましたが、最後までドンらしく穏やかに過ごしておりました。皆さま、これまで温かく見守ってくださりありがとうございました。

・2022年5月27日 ワオキツネザル「ミイ」



・死因：多臓器不全

・愛称：ミイ

誕生日：1996年4月25日

年齢：26歳、性別：メス

オスの「コボ」との間にオスを9頭、メスを9頭産み、たくさんのお子どもたちが他の園で暮らしています。今までありがとうございました。

・2022年5月28日 フタユビナマケモノのこども

・死因：母親の育児放棄による衰弱

誕生日：2022年5月5日

年齢：23日齢、性別：メス

フタユビナマケモノのテラスは5月5日に出産し、育児に励んでいましたが、5月27日に突然育児放棄をしてしまいました。こどもは衰弱していたため、飼育係がこどもにミルクを与えるなど、回復に努めましたが、5月28日に残念ながらこどもは死亡しました。これまで、温かく見守っていただき、ありがとうございました。

・2022年4月16日 パタスザル「チーネ」



・死因：胸腔内出血

・愛称：チーネ

誕生日：2011年3月2日

年齢：11歳、性別：メス

新たに導入したオスの「ヘリオス」と最近ではグルーミングをするほど仲が良くなり、繁殖を期待してしていただけに、とても残念です。

・2022年4月13日 ホンドザル「ノイチゴ」



- ・死因：肺膿症
- ・愛称：ノイチゴ

誕生日：1995年6月16日

年齢：26歳、性別：メス

サル山では2番目の高齢で、26歳のメスでした。動きがゆっくりのため、皆様に応援を頂いておりました。ありがとうございました。